

「作る」で「学ぶ」 ～工作で、創意工夫・継続する力をはぐくむ～

目的

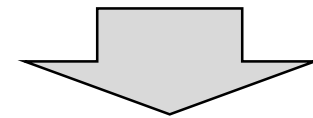
- 今後の社会で必要とされるのは、「考える」「あきらめない」「工夫する」という3つの力！
 - 工作活動を通じて、子供たちに3つの力を身に付けてもらうとともに、挑戦することの楽しさを知ってもらう
 - 自分で考え、判断できる人（挑戦の土台）
 - 他者の挑戦を応援できる人（挑戦できる環境）
 - アドバイスができる人（挑戦する仲間）
- 3つがそろった社会を作り、前向きな世の中に！

工作で、3つの力をはぐくむことができる



背景

- 新しい時代
 - 従来の仕事と、これからの仕事は大きく変わる
 - ロボット・AI技術の発達
 - 代替されないために.....考える力が必要
 - 成果主義・IT化の時代
 - 独自性を出すために.....工夫する力が必要
 - 選択肢がたくさんある時代に
 - そんな時代でも.....あきらめない力が必要



創意工夫・継続力

考えなければ、自動化される



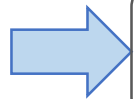
より価値の高いほうが選ばれる



「作る」で「学ぶ」 ～工作で、創意工夫・継続する力をはぐくむ～

活動と成果

- 地域の小学生を対象とした、工作体験教室(4回)
→工作を体験してもらい、考える楽しさを感じてもらった
→リピート率が高く、継続意欲がみられた
- Be Smile ロケット教室(プレイベント併せ、計5回)
→登別市役所と協力して行った、官学連携企画
→約80名の児童・生徒が参加し、自作ロケットを発射



児童・生徒に、工作を通して3つの技能を身に付けてもらうことができた



▲ロケット教室の様子



▲ロケットのエンジン殻を使った、児童の工作

今後の課題

- 仮説(工作で創意工夫～)が正しいということは、活動を通して感じている
→あくまでも肌感覚での話
研究であるからには、数字でのデータが必要
- 3つの力の推移をデータ化するのは難しい
→ほかの観点から、成果を測定する？

これまで学んだこと

- 教育の難しさ
→様々な能力・個性・発達レベルの児童
一人ひとりに合わせた説明や、言葉選びが必要
- 地域との協働
地元と関わることで、PRなどの大きなメリット

活動の記録は、HPに掲載中！！

www.kousakutaiken.com



やる気の出し方～勉強編～

📌 動機

☆自分に足りないものは「やる気」だと思い、やる気の出し方に興味を持った
☆特に勉強のやる気の出し方を調べたいと思った（学校での探究活動ということもあり、勉強のやる気の出し方は調べやすいのではないかと考えた）

📌 現状

明日生を対象にしたやる気の出し方を調べるため、明日生の現状をアンケートで調べた。

【アンケート結果】

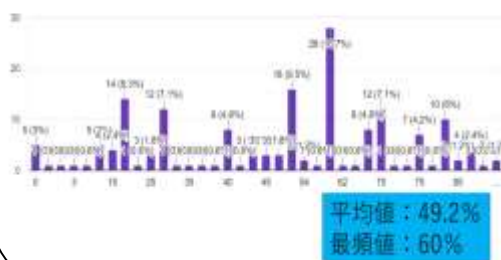
○勉強は好きですか？

- ・とてもそう思う◎ → 4.8%
- ・少しそう思う○ → 22%
- ・どちらでもない → 24.4%
- ・あまりそう思わない△ → 29.2%
- ・激しくそう思わない× → 19.6%

○今の成績の満足していますか？

- ・とてもそう思う◎ → 0%
- ・少しそう思う○ → 10.7%
- ・どちらでもない → 12.5%
- ・あまりそう思わない△ → 35.7%
- ・激しくそう思わない× → 41.1%

○今の勉強に対するやる気は何パーセントですか？



○今のやる気パーセントの原因（理由）は何ですか？

- ・外部的要因 → 7.7%
- ・内部的要因 → 53.6%
- ・外部・内部の両方 → 63.9%
- ・どちらでもない → 1.8%

アンケートについて

実施日 9月7日（月）～9月11日（金）
対象者 3～5年生 → 計221人
回答者数 168人

アンケート方法

- ・Googleフォーム（インターネット使用可能者）
- ・紙面アンケート（インターネット使用不可能者）

- ・勉強が好きな人は少ない
- ・今の成績に満足している人が少ない
- ・主なやる気低下の原因は、内部的要因によるもの

➡内部面でのやる気の出し方に比重を置いて調査する必要がある

📌 理想(ゴール)

明日生を対象とした「やる気の出し方ワークシート」を完成させる！

イメージ



📌 活動内容

①フィールドワーク

実施日：2020年8月24日
方法：メール



立命館大学（びわこ・くさつキャンパス）
食マネジメント学部 金井壽宏さん

本を紹介していた
だき、やる気の出
し方ワークシート
に活用させていた
だいた。



②やる気の出し方ワークシート（第一弾）配布

やる気の出し方ワークシート～勉強編～

＜やる気の出し方ワークシートとは？＞
 明日生を4つのペルソナ（架空のユーザー像・人物モデル）に分類し、それぞれに合わせたやる気の出し方を紹介します。自分（荷さん）に合うやる気の出し方を見つけるお手伝いを勝手にさせていただきますシートです。

＜使い方＞
 ①4パターンの中から自分に似ていると思った人物を選び
 ②やる気の出し方タイプを読み取り欄を書き、実践してみる
 ③実践してみて変わらなかった部分などを自分なりに改善し、『自分だけのやる気の出し方』を探していく

名前：加藤明美（かとうあけみ）（女）
 部活動：文化部
 住まい：明日郷
 休日：図書館巡り
 趣味：読書

目標：定期考査学年25位以内
 課題：勉強をやってもなかなか成績が伸びない

名前：明野健代（あけのほろよ）（女）
 部活動：運動部
 住まい：西小牧
 休日：ほとんど部活
 趣味：アニメを見る

目標：進試にならない
 課題：勉強をする時間がない
 暇だつてアニメを見てしまう

名前：伊達金（だてのぼる）（男）
 部活動：帰宅部
 住まい：伊達
 休日：家に居る
 趣味：ゲーム・漫画

目標：MSに受かる
 課題：夜更かしをして授業中に寝る
 勉強がそもそもしたくない

名前：別府北博（べつぷほくかい）
 部活動：運動部
 住まい：個別
 休日：ほとんど部活
 趣味：映画鑑賞

目標：定期考査英語9割
 課題：英語以外は勉強しない
 特に数学が苦手

①希望タイプ
 KEYWORD：夢・目標・楽しみ・やりがい
 ①希望タイプ
 ②緊張タイプ
 ③ゲーミフィケーション
 ④持論タイプ

①希望タイプ
 ②緊張タイプ
 ③ゲーミフィケーション
 ④持論タイプ

①希望タイプ
 ②緊張タイプ
 ③ゲーミフィケーション
 ④持論タイプ

①希望タイプ
 ②緊張タイプ
 ③ゲーミフィケーション
 ④持論タイプ

あなたの目標：
理想との差を可視化してみよう！

やるべきことリスト（to do list）を作
って、未達成なことを可視化しよう！

勉強の目標：
勉強の報酬：
報酬のために頑張ってみよう！

①を使う教科：
②を使う教科：
③を使う教科：

③「やる気の出し方ワークシート」についてのアンケート実施

そもそも読んでいただけたのかを調べるために、印象・活用していただけたか・役立ったかなどを聞いた。

	5 A	5 B	4 A	4 B	3 A	3 B	全体
対象者数	38	37	36	36	37	37	221
回答者	37	30	15	26	32	22	162
回答率	97.3%	81.0%	41.6%	72.2%	86.5%	59.4%	73.3%

印象（全体）	◎：22 ○：6 △：6 ✕：8	13.6% 42.6% 38.9% 4.9%	← ◎：すごく読みたい ○：読んでみよう △：少し読んでみようかな ✕：読む気にならない	活用（全体）	○：85 △：1 ✕：76	52.5% 0.6% 46.9%	← ○：活用した △：どちらでもない ✕：活用していない
役立ち（全体）	○：86 △：2 ✕：74	53.1% 1.2% 45.7%	← ○：役に立った △：どちらでもない ✕：役に立たなかった	どれを使用したか （53人回答）	①：6 ②：24 ③：9 ④：3	11.3% 45.3% 17.0% 5.6%	← ①希望タイプ ②緊張タイプ ③ゲーミフィケーション ④持論タイプ

今後の計画

☆「やる気の出し方ワークシート」に対するアンケートをもとに、『やる気の出し方ワークシート 第二弾』を作成する。

（☆余裕があれば、やる気の出し方ワークショップを開催する。）